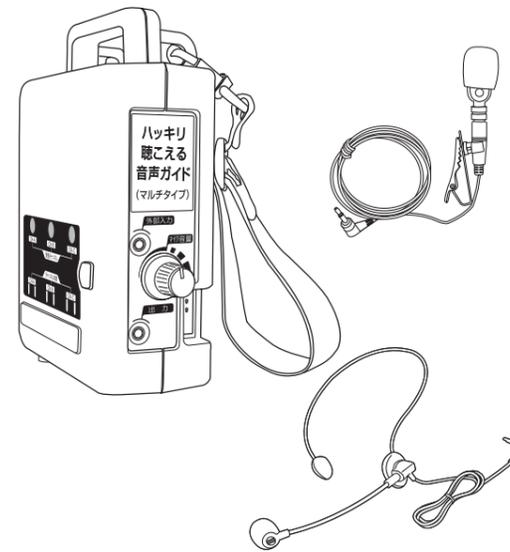


オプション品 取扱説明書

このたびは「オプション品」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



今回お求め頂いたのは

	マルチレピーター [MR-551MG]
	単一指向マイク&タイピンクリップ付コード [GA-500MIC]
	ヘッドセットマイク [MR-550HM]

安全上のご注意(必ずお守りください)

- 危険** ●人が死にまたは重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
 - 警告** ●人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 - 注意** ●人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける可能性が想定される内容を示しています。
- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 絵表示について**
この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。

危険

- 禁止** 火のそば、直射日光の当たる場所など、高温となる場所で使用、保管、放置しないでください。機器の変形、発熱、発火の原因となります。
- 分解禁止** 内部に電圧の高い部分がありますので分解、改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

警告

- 禁止**
 - 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える恐れがあります。表示された電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
 - 本体およびACアダプターを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。発熱、破裂、発火などの原因となります。
 - 本機およびACアダプターを濡らさないでください。火災、感電の原因となります。
 - 製品の内部に水や異物を入れないでください。火災、感電の原因となります。
 - 充電端子をショートさせないでください。火災や故障の原因となります。
 - ACアダプターのコードは伸ばして使用し、釘などで固定や束ねたまま使用しないでください。過熱による火災やけがの原因となります。
 - ACアダプターのコードの上に物を置いたり、動物や家具などの下に入れてはしないでください。断線、故障の原因となります。
- 強制**
 - 使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発熱、発火などの原因となります。
 - 付属のACアダプター以外使用しないでください。機器の発熱、発火、故障の原因となります。
 - 異物や水などが機器の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
 - コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと過熱による火災やけがの原因となります。

注意

- 禁止**
 - 落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。けが、故障の原因となります。
 - くらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して故障の原因となります。
 - 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所、激しい振動のある場所、強力な磁気のある場所には設置、保管しないでください。故障の原因となります。
 - 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
 - 本体、ACアダプターを布などで覆った状態で使用しないでください。発熱、発火などの原因となります。
 - 充電中に落雷の恐れのあるときはACアダプターを電源コンセントから抜いて充電を中止してください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。
 - 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。音量を上げすぎないようにご注意ください。
 - トランク型充電器を使用するとき蓋の開閉にご注意ください。指を挟んだり、爪を損傷する恐れがあります。
 - 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となります。
- 指示**
 - ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターの本体を持って抜いてください。コードを持って抜くと、コードの破損や火災、感電の原因となります。
 - 電源プラグの引および刃の取り付け面についてはほこりなどは乾いた布で定期的拭き取ってください。電源プラグ部の絶縁低下によって、火災の原因となります。
 - 製品本体の汚れは中性洗剤を含ませた布でふきとってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用すると変形・変色の原因となります。
 - 本製品を長時間使用しない場合でも、1か月に一度を目安に充電を行ってください。
 - 機器を移動させる場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。コードの傷つきや、けが、火災、感電の原因となります。
 - 長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

使用上の注意

ワイヤレス機器について

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、およびアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.本製品を使用される前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止し、電波干渉を避けてください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

本製品は日本国内でのみご使用いただけます。

- ・本製品は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- ・以下の行為は法律で禁じられています。
 - 一分解や改造を行う
 - 一本体に貼付の技術適合証明ラベルをはがす

・他の機器との影響
電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LANを使用する機器、Bluetooth搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が届かなくなることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。

- ・伝送距離について
本製品は送信機の音声を受信機に無線伝送します。伝送可能な距離は、見通しが良い場所で送信機から約30~50m※です。
※送信機からの伝送可能な距離は周囲の環境や建物の構造などによって変化します。送信機と受信機の間に壁や金属の扉など、電波を遮るものがあると伝送距離は短くなります。また、送信機は電波を反射する壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックの中などを避けてください。

内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。
●本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
●周囲温度が低い環境では、バッテリー持続時間が短くなります。
●リチウム電池はリサイクル可能な資源です。不要になったリチウム電池は、ショートしないように、端子やケーブル部分にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp> をご覧ください。

電池交換について

専用バッテリーとなりますので交換はエムケー電子株式会社サービス課で行います。TEL. 026-214-7855までご連絡ください。

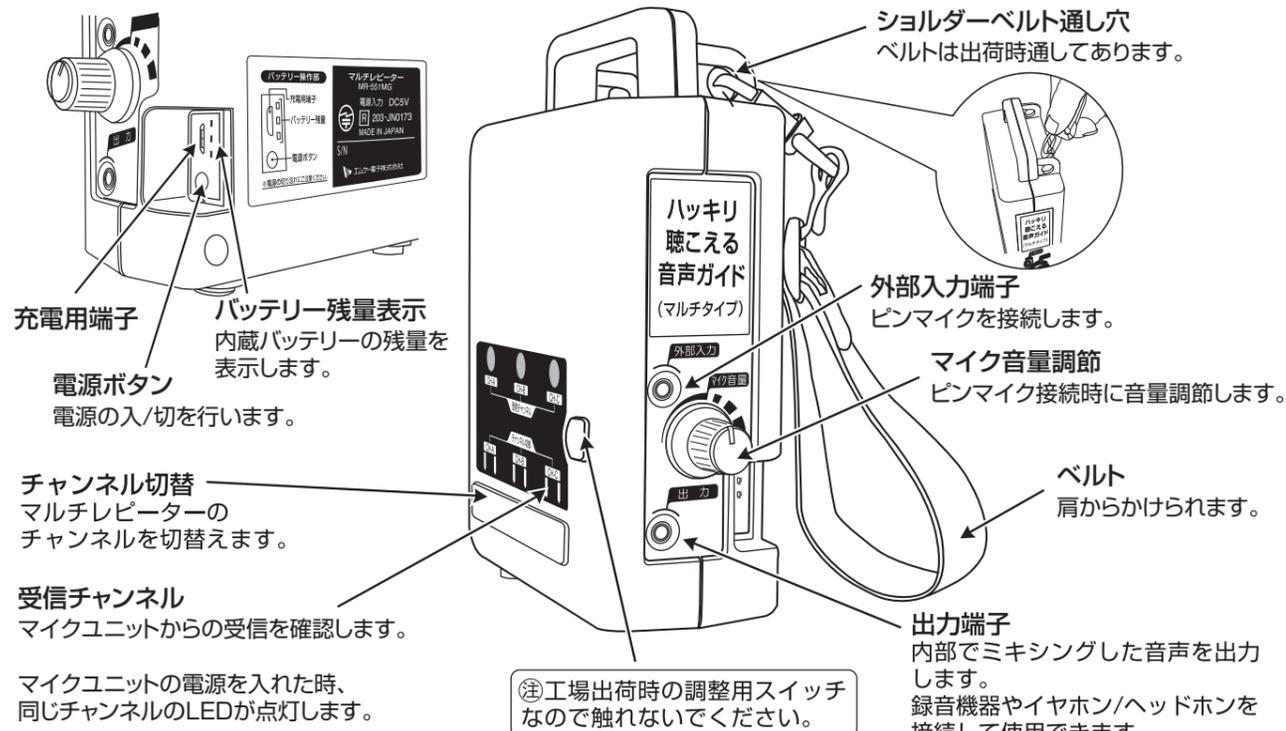


エムケー電子株式会社

〒388-8014 長野県長野市篠ノ井塩崎6598
電話 026-214-7855 FAX 026-214-7788
受付時間 月曜~金曜 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)
E-mail / toiawase@mkdenshi.co.jp

マルチレピーター

マイクユニット(マルチタイプ用)とピンマイクの音声を同時に受信、混合し耳かけ型受信機に送信します。

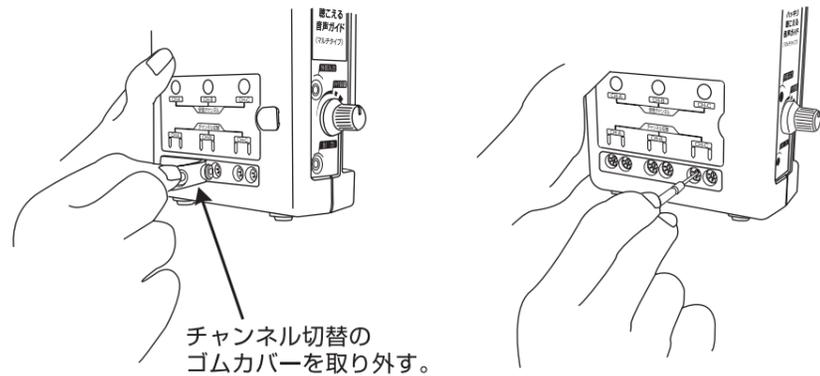


■チャンネル設定

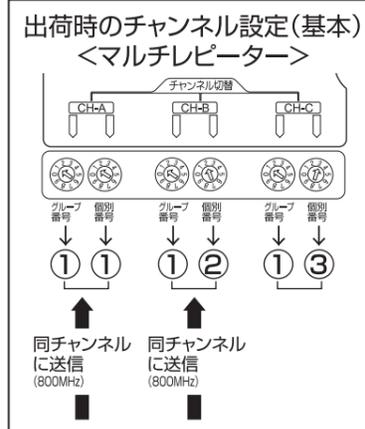
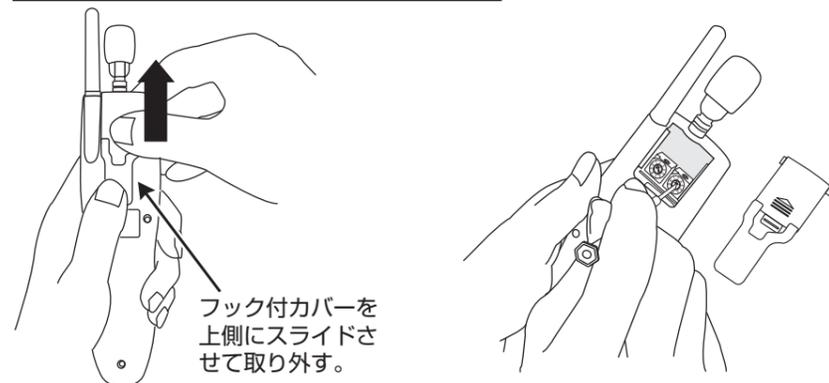
出荷時、マルチレピーターのチャンネル設定は下図のとおりです。マイクユニット(マルチタイプ用)のチャンネルを合わせて使用します。

マルチレピーター

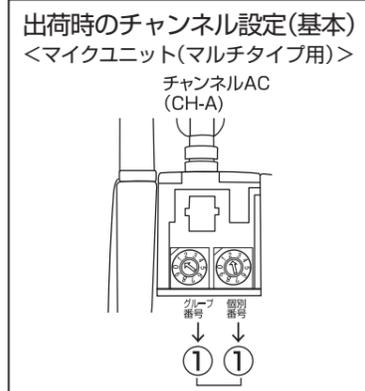
マルチレピーター、マイクユニット(マルチタイプ用)ともに設定変更を行います。



マイクユニット(マルチタイプ用)



マルチレピーター、マイクユニット(マルチタイプ用)のチャンネル設定は番号共通



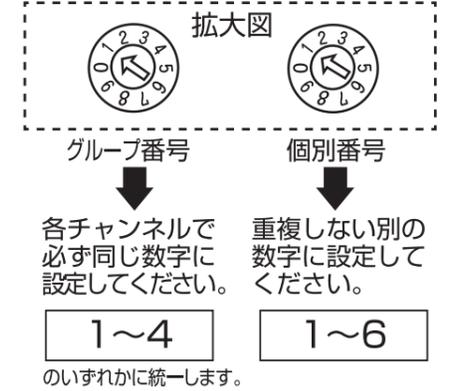
混信する時や、使用時のグループ分け等の用途によりチャンネルの設定変更が可能です。

変更方法

チャンネル変更用ドライバーを使ってグループ番号と個別番号を変更します。

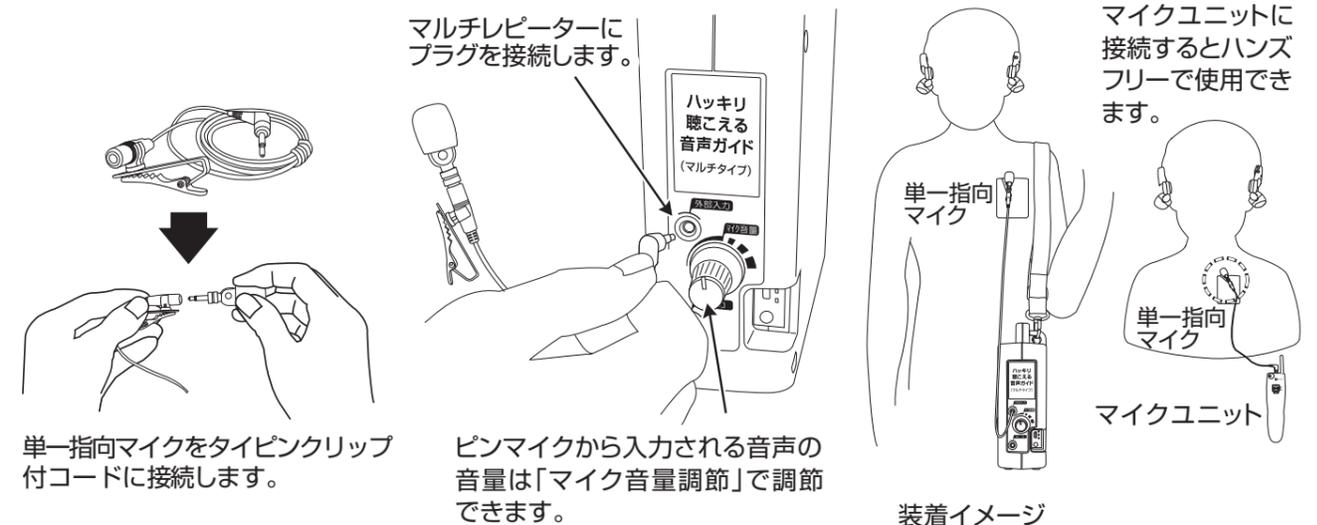
マルチレピーター、マイクユニットともチャンネルは必ず統一にしてください。
※異なったグループに設定すると(グループが分かると)干渉が起こり混信の原因になります。

マルチレピーター、マイクユニットとも1つのチャンネルごとにグループ番号と個別番号が横に並んでいます。



単一指向マイク&タイピンクリップ付コード

マルチレピーターの外部入力端子や、マイクユニットに接続します。



ヘッドセットマイク

マルチレピーターの外部入力端子や、マイクユニットに接続します。

